

日本人の 忘れもの

M A D A Y L I F E

【までい】「丁寧に」「心をこめて」「じっくりと」「つつましく」「大切に」
日々を丁寧に生きていく、飯舘村にみかじからあることばです。



私たちの未来に
美しい日本語を。

「日本人の忘れもの」を
さがしてみませんか！

2011年3月11日に発生した東日本大震災。私たちが住む福島県飯舘村は、原発事故による放射能の影響で全村避難となりました。この間全国の皆様から励ましと温かいことばをいただき、とても勇気づけられました。と同時に、あらためてことばの持つ力にも気づかされたのです。

そこでこの度私たちは、この出来事をきっかけに、日本や日本人が大切にしていたことばを、「日本人の忘れもの」というテーマで全国から募り、次の世代にも受け渡したいと考えました。日本人が忘れてしまった豊かなことば、残したいことば、何でもけっこうです。ご応募お待ちしております。

・応募要項・

【募集することば】10文字以内でお願いします。また、そのことばを選んだ理由も書いてください。

【〆切】平成24年11月15日

【発表日】平成24年12月20日（入選者に直接お知らせします）

【応募方法】官製ハガキまたは、飯舘村特製ハガキ（50円切手をお貼りください）にてご応募ください。

応募数の中から20前後を選びそのことばを石碑に刻み中学校の庭に設置します。同時に冊子にする予定です。

【送付先】〒960-1302 福島県福島市飯野町明治字藤柄13の2 飯舘中学校内「日本人の忘れもの実行委員会事務局」

【審査員】中学生6名、篠まどか（俳人）、増田明美（スポンサーナリスト）、菅原美智子（ラジオ福島アナウンサー）、佐川旭（建築家）